



## システム メッセージ

---

この章では、ACE のシステム ログ メッセージをリストで示します。メッセージは、メッセージコードの番号順で記載されています。

ACE のシステム ログ メッセージで使用される主な変数のリストについては、[第 1 章「システム メッセージ ログギングの設定」](#)の表 1-2 を参照してください。ACE のシステム ログ メッセージを重大度の順に記載したリストについては、[第 3 章「重大度別メッセージ」](#)を参照してください。

この章の主な構成は、次のようになっています。

- [メッセージ 106021 ~ 199006](#)
- [メッセージ 212007 ~ 254002](#)
- [メッセージ 302022 ~ 327001](#)
- [メッセージ 400000 ~ 444007](#)
- [メッセージ 504001 ~ 504002](#)
- [メッセージ 607001 ~ 615004](#)
- [メッセージ 727001 ~ 729003](#)

## メッセージ 106021 ~ 199006

ここでは、106021 ~ 199006 のメッセージについて説明します。

### 106021

**エラー メッセージ** %ACE-1-106021: Deny protocol reverse path check from *source\_address* to *dest\_address* on interface *interface\_name*

**説明** 攻撃が進行中です。着信接続において IP アドレスのスプーフィングを試みている人物がいます。ルートで表される送信元アドレスを持たないパケットは、逆ルート ルックアップとしても知られているユニキャスト Reverse Path Forwarding (RPF) によって検出され、ACE への攻撃の一部であると見なされます。

**ip verify reverse-path** コマンドでユニキャスト RPF をイネーブルにすると、このメッセージが表示されます (『Cisco Application Control Engine Module Security Configuration Guide』を参照)。RPF は、インターフェイスに送信されるパケットに対して作用します。このコマンドを外部に対して作用するように設定した場合、外部から着信するパケットが ACE によってチェックされます。

ACE では、送信元アドレスに基づいてルートをルックアップします。エントリが見つからず、またルートが特定できない場合は、システム ログ メッセージが表示され、接続が破棄されます。

ルートが特定できる場合、そのインターフェイスにどのインターフェイスが対応しているかが ACE によってチェックされます。パケットが別のインターフェイスから着信した場合、それはスプーフィングであるか、または宛先へのパスが複数ある非対称ルーティング環境が存在しています。ACE では、非対称ルーティングはサポートされていません。

ACE が内部インターフェイス上で設定されていると、スタティック ルート コマンド文または RIP が ACE によってチェックされます。そして、送信元アドレスが見つからなかった場合は、内部ユーザがそのユーザに割り当てられているアドレスでスプーフィングを行っています。

**推奨処置** 攻撃が進行中であっても、この機能がイネーブルになっていれば、ユーザが対処する必要はありません。ACE は攻撃を撃退します。

### 106023

**エラー メッセージ** %ACE-4-106023: Deny protocol *number* | *name* *src* *incoming-interface:src-ip* *dst* *outgoing-interface:dst-ip* by *access-group* "*acl-name*" (*hash 1*, *hash 2*)

**説明** IP パケットが ACL によって拒否されました。このメッセージは、ACL に対してログ オプションがイネーブルに設定されていない場合でも表示されます。パケットが入力 ACL にヒットした場合、発信インターフェイスには通知されません。この場合、ACE は発信インターフェイスを不明として表示します。NAT で使用される場合、送信元 IP アドレスおよび宛先 IP アドレスは、それぞれ入力 ACL および出力 ACL 用の非マッピング アドレスとマッピング アドレスとなります。

*hash 1* フィールドは、32 ビット 16 進数 (0xnxxxxxxx) の MD5 ハッシュ値で、ACE は、ACL が設定されると直ちに **access-list** コマンドから算出します。ACE は、拒否 syslog メッセージ内にこのハッシュ値を含めて、**show access-list name detail** コマンド出力の syslog の原因となった ACL エントリを識別できるようにします。このハッシュ値は、行番号に依存しません。

*hash 2* フィールドは、16 ビット 16 進数 (0xnxxxx) の MD5 ハッシュ値です。この値は、ACE が ACL で設定したオブジェクト グループから作成される拡張アクセス リスト エントリにより、算出されます。インターフェイス上で ACL をアクティブにすると、ACE は *hash 2* 値を算出します。オブジェクト グループがない ACL の場合、*hash 2* 値は常に 0x0 となります。また、ACE は、拒否 syslog メッセージ内に *hash 2* 値も含めることにより、syslog の原因となった拡張 ACL

エントリを識別できるようにします。このハッシュ値も、行番号に依存しません。syslog の原因となった拡張 ACL エントリを一意に識別するには、**show access-list name detail** コマンド出力で *hash 1* および *hash 2* 両方の 16 進数値に一致する エントリを検索する必要があります。

リポート後に、拒否 syslog メッセージ内と、**show access-list detail** コマンド出力での間に起こり得るハッシュ番号の不一致を避けるため、ACL に個々のエントリを設定する際には、タブ補完を使用するか、CLI にすべてのキーワードを入力してください。

**推奨処置** 同じ送信元アドレスからのメッセージが続く場合は、リモートホストの管理者に連絡してください。このようなメッセージは、フットプリンティングまたはポートスキャンが行われている可能性があります。

## 106028

**エラーメッセージ** %ACE-1-106028: WARNING: Access rule memory exhausted while processing Access-group. Incomplete rules are currently applied on interface *interface-name*. Manual roll back to a previous access rule configuration on this interface is needed.

**説明** Access Control List (ACL; アクセスコントロールリスト) のコンパイル処理でメモリが不足したために、新しい ACL エントリを特定のインターフェイスに適用できなくなりました。ハードウェア内でそのインターフェイス用にダウンロードされた ACL 設定が、この障害が原因で、既知の状態にならない場合があります。

**推奨処置** いくつかの ACL エントリを削除して、必要な設定のためのメモリを確保します。既知の状態を回復するには、影響を受けたインターフェイスを削除してから再作成する必要があります。

## 111008

**エラーメッセージ** %ACE-5-111008: User *user* executed the command *string*

**説明** このメッセージは、情報です。ユーザは、設定を変更するコマンドを入力しました。

**推奨処置** 対処不要です。

## 111009

**エラーメッセージ** %ACE-7-111009: User *user* executed cmd:*string*

**説明** このメッセージは、情報です。ユーザは、設定を変更しないコマンドを入力しました。

**推奨処置** 対処不要です。

## 199006

**エラーメッセージ** %ACE-5-199006 : Orderly reload started at *when* by *whom*. Reload  
reason: *reason*

**説明** このメッセージでは、ACE のリロード レコードおよびリロードの原因がログに記録されます。

*reason* では、リロードの発生した原因が説明されます。次の事項が原因になる可能性があります。

- リロード コマンド
- sup 要求
- CF 形式
- ハードウェアの障害

The *when* 変数は、リロード動作を定期的に開始する時刻を指定します。

*whom* 変数には、**reload** コマンドを入力したユーザの名前を指定します。リロードが別の原因で発生した場合は、[System] が指定されます。

**推奨処置** 対処不要です。

## メッセージ 212007 ~ 254002

ここでは、212007 ~ 254002 のメッセージについて説明します。

### 212007

**エラー メッセージ** %ACE-2-212007: SNMPD initialization failed while Variable1

**説明** これは、SNMP デーモンの初期化に失敗したときにログに記録される SNMP メッセージです。SNMP デーモンは、デバイスの初期化中に作成されます。

Variable1 変数は、次のようになります。

- loading mib module (mib モジュールのロード)
- performing mts\_bind (mts\_bind の実行)
- performing mts\_options\_set (mts\_options\_set の実行)
- initializing kernel memory map (カーネル メモリ マップの初期化)
- registering read/write file descriptor (読み取り / 書き込みファイル記述子の登録)
- creating socket endpoint (ソケット エンドポイントの作成)
- creating daemon process (デーモン プロセスの作成)

**推奨処置** ACE を再起動します (詳細については、『Cisco Application Control Engine Module Administration Guide』を参照してください)。それでもまだ SNMP デーモンの初期化に失敗する場合は、Cisco TAC に連絡して、**show processes** コマンドと **show np** コマンドの出力を提出してください。

### 212008

**エラー メッセージ** %ACE-3-212008: Failed while allocating memory in snmpd

**説明** これは、SNMPD プロセスでのメモリ割り当てに失敗した場合に、ログに記録される SNMP メッセージです。このエラーが発生すると、SNMPD プロセス (たとえば、SNMP Get/GetNext 応答、トラップ生成、または SNMP CLI) が影響を受ける場合があります。

**推奨処置** **show system** コマンドを使用してシステム メモリをチェックします。ACE のメモリが不足した場合は、ACE を再起動します (詳細については、『Cisco Application Control Engine Module Administration Guide』を参照してください)。メモリが不足していない場合は、Cisco TAC に連絡して、**show system resources** コマンドと **show processes cpu memory** コマンドの出力を提出してください。

### 251001

**エラー メッセージ** %ACE-3-251001: Probe configuration error, memory allocation failure.

**説明** ACE には、特定のプローブ設定をサポートするだけの十分なメモリがありません。設定マネージャによってプローブ設定がヘルス モニタ モジュールへ送信される場合、ヘルス モニタ モジュールはプローブを設定するメモリを予約する必要があります。ヘルス モニタでプローブを設定するときにメモリが不足すると、syslog メッセージが送信されます。

**推奨処置** プローブ設定のサイズを小さくします。

## 251002

**エラーメッセージ** %ACE-4-251002: The configured health probe script *script-name* for server *A.B.C.D* on port *P* is empty

**説明** ポート *P* 上にあるサーバ *A.B.C.D* のスクリプト化されたヘルスプローブに対して、空のスクリプトが設定されました。

**推奨処置** 適切なプローブ情報を含むスクリプト ファイルをアップデートし、読み込みを解除してからスクリプトをリロードします (詳細については『*Cisco Application Control Engine Module Server Load-Balancing Configuration Guide*』を参照してください)。また、空ではないスクリプトを使用するヘルスプローブを再設定することもできます。

## 251003

**エラーメッセージ** %ACE-3-251003: Could not load script *script-name* - File not found

**説明** ACE は、ロードする必要があるスクリプト ファイルを検出できません。

**推奨処置** 新しいスクリプト ファイルを作成し、古いファイルの読み込みを解除してから、新しいファイルをロードします (詳細については『*Cisco Application Control Engine Module Server Load-Balancing Configuration Guide*』を参照してください)。

## 251004

**エラーメッセージ** %ACE-3-251004: Could not load script *script-name* - memory allocation failure

**説明** ACE には、指定されたスクリプト ファイルをロードするだけの十分なメモリがありません。

**推奨処置** 設定のサイズを小さくするか、未使用のスクリプト ファイルの読み込みを解除します。

## 251005

**エラーメッセージ** %ACE-4-251005: Could not unload script *script-name*

**説明** ACE は、内部エラーのため、指定されたスクリプト ファイルをロードできません。

**推奨処置** このエラーが頻繁に発生する場合は、Cisco TAC に連絡してください。

## 251006

**エラーメッセージ** %ACE-3-251006: Health probe failed for server A.B.C.D on port P, internal error: error message

**説明** サーバ A.B.C.D. のポート P 上で設定されたサービスは、プローブの実行中に ACE で内部エラーが発生すると、ヘルス チェックで不合格になります。エラーはシステムの内部で発生するため、サーバの健全性が実際にどのようなになっているかは不明です。

error message の可能性のある変数の値は、次のようになります。

- failed to setup a socket (ソケットの設定に失敗)
- forced disconnect (強制切断)
- failed to allocate memory (メモリ割り当てに失敗)
- failed to create SSL context (SSL コンテキストの作成に失敗)
- failed to create SSL context (SSL セッションの作成に失敗)
- failed to assign socket to SSL session (SSL セッションへのソケットの割り当てに失敗)
- failed to build a server query (サーバクエリーの作成に失敗)
- failed to initialize LDAP (LDAP の初期化に失敗)
- failed to bind to LDAP (LDAP の作成に失敗)
- invalid probe request (無効なプローブ要求)
- failed to set LDAP option (LDAP オプションの設定に失敗)
- failed to get LDAP option (LDAP オプションの取得に失敗)

**推奨処置** このエラーが頻繁に発生する場合は、Cisco TAC に連絡してください。

## 251007

**エラーメッセージ** %ACE-3-251007: ICMP health probe failed for server A.B.C.D, internal error: error message

**説明** サーバ A.B.C.D. のポート P 上で設定されたサービスは、ICMP プローブの実行中に ACE で内部エラーが発生すると、ヘルス チェックで不合格になります。エラーはシステムの内部で発生するため、サーバの健全性が実際にどのようなになっているかは不明です。

error message の可能性のある変数の値は、次のようになります。

- general encap-decap failure (一般的な encap-decap の失敗)
- write failure (書き込みの失敗)
- received bad file descriptor (不正なファイル記述子を受信)
- data entry being modified (データ エントリが変更中)
- transmit queue is full (送信キューに空きがない)

**推奨処置** このエラーが頻繁に発生する場合は、Cisco TAC に連絡してください。

## 251008

**エラーメッセージ** %ACE-3-251008: Health probe failed for server A.B.C.D on port P, connectivity error: server open timeout (no SYN ACK)

**説明** サーバ A.B.C.D. のポート P 上で設定されたサービスは、ネットワークの問題が原因でプローブがサーバに到達できないと、ヘルスチェックで不合格となります。

**推奨処置** サーバへのネットワーク接続を確認し、サーバでプローブを再実行します。

## 251009

**エラーメッセージ** %ACE-3-251009: ICMP health probe failed for server A.B.C.D, connectivity error: error message

**説明** 設定された実サーバ A.B.C.D. は、ネットワーク接続の問題が原因で ICMP ヘルス プローブがサーバに到達できないと、ヘルスチェックで不合格になります。

*error message* の可能な変数の値は、次のようになります。

- host unreachable, no route found to destination (到達不可能なホスト、宛先へのルートが不明)
- ARP not resolved for destination ip address (宛先 IP アドレスで ARP が解決不能)
- network down (ネットワークがダウン)
- interface has no ip address (インターフェイスの IP アドレスが不明)
- ICMP host unreachable (ICMP ホストに到達不能)
- ICMP destination unreachable (ICMP の宛先に到達不能)

**推奨処置** サーバへのネットワーク接続を確認し、サーバでプローブを再実行します。

## 251010

**エラーメッセージ** %ACE-3-251010: Health probe failed for server A.B.C.D on port P, error message

**説明** サーバ A.B.C.D. のポート P 上で設定されたサービスは、サーバ応答が予期されたものでないと、ヘルスチェックで不合格になります。

*error message* の可能な変数の値は、次のようになります。

- connection reset by server (サーバによる接続のリセット)
- connection refused by server (サーバによる接続の拒否)
- authentication failed (認証に失敗)
- unrecognized or invalid response (認識不能または無効な応答)
- server reply timeout (サーバ応答のタイムアウト)
- graceful disconnect timeout (no FIN ACK) (正常な切断タイムアウト: FIN ACK なし)
- user defined Reg-Exp was not found in host response (ホスト応答内でユーザ定義 Reg-Exp が不明)
- expect status code mismatch (予期したステータスコードとミスマッチ)
- received invalid status code (不正なステータスコードを受信)



- MD5 checksum mismatch (MD5 チェックサムがミスマッチ)
- invalid server greeting (不正なサーバ グリーティング)
- received Out-Of-Band data (アウトオブバンドデータを受信)

**推奨処置** 影響を受けるサーバ上で動作しているサービスをチェックします。

## 251011

**エラー メッセージ** %ACE-3-251011: ICMP health probe failed for server A.B.C.D, error message.

**説明** 設定された実サーバ A.B.C.D. は、ICMP サーバ応答が予期されたものでないと、ヘルスチェックで不合格になります。

*error message* 可能な変数の値は、次のようになります。

- ICMP time exceeded (ICMP 時間超過)
- ICMP redirect (ICMP リダイレクト)
- received ICMP Echo request (ICMP エコー要求を受信)
- received ICMP Stale packet (ICMP Stale パケットを受信)
- received unexpected ICMP packet type (予期しない種類の ICMP パケットを受信)
- received packet is too short (短すぎるパケットを受信)
- received packet is too long (長すぎるパケットを受信)
- server reply timeout (サーバ応答のタイムアウト)

**推奨処置** 影響を受けるサーバ上で動作しているサービスをチェックします。

## 251012

**エラー メッセージ** %ACE-3-251012: Could not load script script-name - Error reading script-file

**説明** ACE でロードしようとしたスクリプト ファイルを読み取れません。ファイルが破損している可能性があります。

**推奨処置** ファイルの内容が正しいことを確認します。正しい場合は、読み込みを解除してからスクリプト ファイルをリロードします(詳細については『Cisco Application Control Engine Module Server Load-Balancing Configuration Guide』を参照してください)。必要に応じて、新しいスクリプト ファイルを作成します。古いファイルの読み込みを解除してから、新しいファイルをロードします。

## 251013

**エラーメッセージ** %ACE-3-251013: Could not load script *script-name* - Error getting file size

**説明** ACE でスクリプトファイルのサイズを確認できなかった場合に、このメッセージがログに記録されます。スクリプトファイルをロードするには、ACE で、適切な量のメモリを割り当てるためにファイルのサイズを確認する必要があります。

**推奨処置** ファイルの内容が正しいことを確認します。正しい場合は、読み込みを解除してからスクリプトファイルをリロードします(詳細については『*Cisco Application Control Engine Module Server Load-Balancing Configuration Guide*』を参照してください)。必要に応じて、新しいスクリプトファイルを作成します。古いファイルの読み込みを解除してから、新しいファイルをロードします。

## 253001

**エラーメッセージ** %ACE-6-253001: Certificate *certificate\_information* expired

**説明** クライアント認証がイネーブルに設定されている場合、SSL ハンドシェイク中にこのメッセージがログに記録されます。ACE によって、証明書の期限が満了していることが確認されます。

**推奨処置** 対処不要です。

## 253002

**エラーメッセージ** %ACE-6-253002: Certificate *certificate\_information* not yet valid

**説明** クライアント認証がイネーブルに設定されている場合、SSL ハンドシェイク中にこのメッセージがログに記録されます。ACE によって、証明書が現在無効であることが確認されます。

**推奨処置** 対処不要です。

## 253003

**エラーメッセージ** %ACE-6-253003: Unknown CA *certificate\_information*

**説明** クライアント認証がイネーブルに設定されている場合、SSL ハンドシェイク中にこのメッセージがログに記録されます。ACE によって、証明書に不明な Certificate Authority (CA; 認証局) があることが確認されます。

**推奨処置** 対処不要です。

## 253004

**エラー メッセージ** %ACE-6-253004: Certificate *certificate\_information* revoked

**説明** クライアント認証がイネーブルに設定されている場合、SSL ハンドシェイク中にこのメッセージがログに記録されます。ACE によって、CA が証明書を取り消したことが確認されます。

**推奨処置** 対処不要です。

## 253005

**エラー メッセージ** %ACE-6-253005: Signature for *certificate\_information* is invalid

**説明** クライアント認証がイネーブルに設定されている場合、SSL ハンドシェイク中にこのメッセージがログに記録されます。ACE によって、証明書のシグニチャが無効であることが確認されます。

**推奨処置** 対処不要です。

## 253006

**エラー メッセージ** %ACE-6-253006: Error peer sent invalid or nonexistent certificate

**説明** クライアント認証がイネーブルに設定されている場合、SSL ハンドシェイク中にこのメッセージがログに記録されます。ACE によって、証明書が無効であるか、または存在しないことが確認されます。

**推奨処置** 対処不要です。

## 253007

**エラー メッセージ** %ACE-6-253007: Certificate in file *file\_name* is expired

**説明** ACE が期限満了している証明書を使用しようとした場合、このメッセージがログに記録されます。X509 証明書には、固定のライフタイムがあります。ACE が SSL ハンドシェイクで期限が満了した証明書を使用すると、クライアントは接続を拒否する可能性があります。*file\_name* 引数は、証明書が常駐しているファイル名です。

**推奨処置** 新しい証明書を入手し、期限満了した証明書と交換します。

## 253008

**エラーメッセージ** %ACE-6-253008: CRL *crl\_name* could not be retrieved

**説明** ACE が CRL の取得に失敗した場合、このメッセージがログに記録されます。SSL クライアント認証に CRL チェックが定義されている場合、ACE は CRL を定期的に取得します。さまざまな理由により、これらの試行が失敗する場合があります。*crl\_name* 変数は、**crypto crl** コマンドにより定義される CRL の名前です。

**推奨処置** ネットワーク接続に問題がないか、または CRL のサーバ位置が変更されていないかをチェックしてください。

## 253010

**エラーメッセージ** %ACE-3-253010: Configuration failure: Certificate in file *certificate\_name* and key in file *key\_name* do not match

**説明** 証明書と鍵が一致しない場合、このメッセージがログに記録されます。この結果、SSL ハンドシェイクは失敗となり、ACE は設定内の不一致な証明書および鍵をダウンロードしません。X509 証明書には、一致する秘密鍵があります。*certificate\_name* 変数は、証明書ファイルの名前です。*key\_file* 変数は、鍵ファイルの名前です。

**推奨処置** 正しい証明書および鍵が、SSL プロキシサービスで使用されていることを確認します。必要に応じて、正しいファイルを含めるように SSL プロキシサービスを変更します。

## 254001

**エラーメッセージ** %ACE-4-254001: ACL resource usage beyond maximum limit for context *context\_id*. Free up some resources.

**説明** このメッセージは、指定されたコンテキスト (*context\_id*) で使用中の ACL リソースが、リソースクラスで許可されている上限を超過していることを示しています。

**推奨処置** 指定されたコンテキスト内の最小 ACL 使用量を減らして、上限を超過しないようにします。

## 254002

**エラーメッセージ** %ACE-4-254002: Minimum ACL resources could not be guaranteed for context *context\_id*.

**説明** このメッセージは、指定されたコンテキスト (*context\_id*) で、要求された最小 ACL リソースが保証されなかったことを示しています。

**推奨処置** グローバル管理者に連絡をして、別のコンテキスト管理者により ACL リソースを開放してもらうよう要求してください。

## メッセージ 302022 ~ 327001

ここでは、302022 ~ 327001 のメッセージについて説明します。

### 302022

**エラー メッセージ** %ACE-6-302022: Built TCP connection *id* for *interface:real-address/real-port (mapped-address/mapped-port)* to *interface:real-address/real-port (mapped-address/mapped-port)*

**説明** これは、2つのホスト間で TCP 接続スロットが作成されたときにログに記録される、情報メッセージです。このメッセージはコントロールプレーンによりフォーマット化されます。

**推奨処置** 対処不要です。

### 302023

**エラー メッセージ** %ACE-6-302023: Teardown TCP connection *id* for *interface:real-address/real-port* to *interface:real-address/real-port* duration *hh:mm:ss* bytes *bytes* [*reason*]

**説明** これは、2つのホスト間で TCP 接続スロットが終了したときにログに記録される、情報メッセージです。

*reason* 変数は、接続の終了を引き起こす動作を指定します。表 2-1 に、TCP の終了の原因を示します。

**推奨処置** 対処不要です。

表 2-1 TCP 終了の理由

理由	説明
TCP FINs	通常の終了シーケンスです。
TCP Reset	TCP リセットが受信されました。
Idle Timeout	TCP 接続がタイムアウトになりました。
FIN Timeout	TCP FIN がタイムアウトになりました。
SYN Timeout	TCP SYN がタイムアウトになりました。
Exception	接続確立のエラーです。
Policy Close	TCP 接続を閉じるポリシーです。
Voluntary Close	TCP 接続は、ユーザによって自発的に閉じられます。
Rebalance	HTTP の再バランス
Reuse Conn.	接続が再利用されました。
Reap Conn.	コントロールプレーン取得メッセージが原因で接続が閉じられました。
Xlate clear	<b>clear xlate</b> コマンドを実行したために、接続が閉じられました。
Conn clear	<b>clear conn</b> コマンドを実行したために、接続が閉じられました。

## 302024

**エラーメッセージ** %ACE-6-302024: Built UDP connection *id* for *interface:real-address/real-port (mapped-address/mapped-port)* to *interface:real-address/real-port (mapped-address/mapped-port)*

**説明** 2つのホスト間でUDP接続スロットが追加されました。

**推奨処置** 対処不要です。

## 302025

**エラーメッセージ** %ACE-6-302025: Teardown UDP connection *id* for *interface:real-address/real-port* to *interface:real-address/real-port* duration *hh:mm:ss* bytes *bytes*

**説明** 2つのホスト間でUDP接続スロットが削除されました。このメッセージはコントロールプレーンによりフォーマット化されます。

**推奨処置** 対処不要です。

## 302026

**エラーメッセージ** %ACE-6-302026: Built ICMP connection for *faddr/NATed\_ID* *gaddr/icmp\_type* *laddr/icmpID*

**説明** ICMPセッションが確立されました。

**推奨処置** 対処不要です。

## 302027

**エラーメッセージ** %ACE-6-302027: Teardown ICMP connection for *faddr/NATed ID* *gaddr/icmp\_type* *laddr/icmpID*

**説明** ICMPセッションが削除されました。

**推奨処置** 対処不要です。

## 302028

**エラーメッセージ** %ACE-6-302028: Built TCP connection *id* for *interface:real-address/real-port (mapped-address/mapped-port)* to *interface:real-address/real-port (mapped-address/mapped-port)*

**説明** 2つのホスト間でTCP接続スロットが作成されました。このメッセージはデータプレーンにより生成されます。

**推奨処置** 対処不要です。

## 302029

**エラー メッセージ** %ACE-6-302029: Teardown TCP connection *id* for interface: *real-address/real-port* to interface: *real-address/real-port* duration *hh:mm:ss* bytes *bytes* [*reason*]

**説明** 2つのホスト間の TCP 接続は、終了されました。

*reason* 変数では、接続の終了を引き起こす動作を指定します。表 2-1 に、TCP の終了の原因を示します。

**推奨処置** 対処不要です。

## 302030

**エラー メッセージ** %ACE-6-302030: Built UDP connection *id* for interface: *real-address/real-port* (*mapped-address/mapped-port*) to interface: *real-address/real-port* (*mapped-address/mapped-port*)

**説明** 2つのホスト間で UDP 接続スロットが追加されました。

**推奨処置** 対処不要です。

## 302031

**エラー メッセージ** %ACE-6-302031: Teardown UDP connection *id* for interface: *real-address/real-port* to interface: *real-address/real-port* duration *hh:mm:ss* bytes *bytes*

**説明** 2つのホスト間で UDP 接続スロットが削除されました。このメッセージはデータ プレーンにより生成されます。

**推奨処置** 対処不要です。

## 303003

**エラー メッセージ** %ACE-6-303003: FTP *cmd\_name* command denied - failed strict inspection, terminating connection from *source\_interface:source\_address/source\_port* to *dest\_interface:dest\_address/dest\_port*

**説明** ACE module は、FTP トラフィックで厳密な検査を使用しています。このメッセージは、**ftp-map** コマンドからの厳密な FTP インспекションポリシーにより、FTP の **request** コマンドが拒否された場合に表示されます。

**推奨処置** 対処不要です。

## 303004

**エラーメッセージ** %ACE-5-303004: FTP cmd\_string command unsupported - failed strict inspection, terminating connection from source\_interface:source\_address/source\_port to dest\_interface:dest\_address/dest\_interface

**説明** ACE module は、FTP トラフィックで厳密な FTP インспекションを使用しています。このメッセージは、FTP 要求メッセージ内にデバイスにより認識されないコマンドが含まれる場合に表示されます。

**推奨処置** 対処不要です。

## 304001

**エラーメッセージ** %ACE-5-304001: user source\_address Accessed {URL} dest\_address: url Connection connection\_ID

**説明** これは、指定されたホストが指定された URL にアクセスしようとしたときにログに記録される、URL メッセージです。

**推奨処置** 対処不要です。

## 305009

**エラーメッセージ** %FWSM-6-305009: Built {dynamic|static} translation from interface\_name [(acl-name)]:real\_address to interface\_name:mapped\_address

**説明** アドレス変換スロットが作成されました。スロットは、ローカル側からグローバル側への送信元アドレスを変換します。また、逆方向では、グローバル側からローカル側への宛先アドレスも変換します。

**推奨処置** 対処不要です。

## 305010

**エラーメッセージ** %FWSM-6-305010: Teardown {dynamic|static} translation from interface\_name:real\_address to interface\_name:mapped\_address duration time

**説明** アドレス変換スロットが削除されました。

**推奨処置** 対処不要です。



## 313004

**エラーメッセージ** %ACE-4-313004: Denied ICMP type=*icmp\_type*, from *source\_address* on interface *interface\_name* to *dest\_address*:no matching session

**説明** セキュリティチェックはステートフル ICMP 機能により追加されたので、ICMP パケットは ACE によって破棄されました。これらの ICMP パケットは、次の理由によって破棄されます。

- 受信された ICMP エコー応答に、すでに ACE を通過した有効なエコー要求がありません。
- 受信された ICMP エラー メッセージは、すでに ACE で確立された TCP、UDP、または ICMP セッションに関連付けられていません。

**推奨処置** 対処不要です。

## 313006

**エラーメッセージ** %ACE-2-313006: ICMP Manager Initialization Failed. Reason : *Variable1*

**説明** ACE のコントロールプレーンで実行中の ICMP Manager を起動できません。

*Variable1* 変数は、次のようになります。

- Timer creation failed. (タイマーの作成に失敗しました)
- MTS initialization failed. (MTS の初期化に失敗しました)
- Error while opening system call. (システム コールをオープン中のエラーです)
- Error while mapping buffer manager memory. (マッピング バッファ マネージャのメモリのエラーです)
- Encap/Decap registration failed. (Encap/Decap の登録に失敗しました)

**推奨処置** ACE では、カードを自動的に再起動する必要があります。再起動されない場合は、手動で再起動します。それでもまだ問題がある場合は、Cisco TAC に連絡して、**show tech-support** コマンドの出力を提出してください。

## 313007

**エラーメッセージ** %ACE-3-313007: ICMP Manager Memory Problem. Reason: *Variable1*

**説明** ICMP に関連したメモリの障害を報告します。

*Variable1* 変数は、次のようになります。

- No memory available to create ping free list. (PING フリー リストの作成に利用できるメモリがありません)
- No memory from buffer manager. (バッファ マネージャのメモリがありません) Cannot send packet. (パケットを送信できません。)
- No memory available for ping block. (PING ブロッキングに利用できるメモリがありません)
- Possible memory corruption. (メモリが破損している可能性があります)

**推奨処置** ACE を再起動します (詳細については、『Cisco Application Control Engine Module Administration Guide』を参照してください)。それでもまだ問題がある場合は、Cisco TAC に連絡して、次のコマンドの出力を提出してください。

- 「No memory from buffer manager. (バッファ マネージャのメモリがありません。) Cannot send packet. (パケットを送信できません)」というメッセージが表示された場合、**show buffer usage** コマンドおよび **show buffer stats** コマンドで生成された出力を提供します。
- その他のメッセージが返された場合は、**show process cpu memory** コマンドで生成された出力を提供します。

## 314001

**エラーメッセージ** %ACE-6-314001: Pre-allocate RTSP UDP backconnection for foreign\_address outside\_address/outside\_port to local\_address inside\_address/inside\_port

**説明** Cisco ASA が、指定された IP アドレスおよびポートに対して RTSP 接続をオープンしました。

**推奨処置** 対処不要です。

## 322001

**エラーメッセージ** %ACE-3-322001: Deny MAC address MAC\_address, possible spoof attempt on interface interface

**説明** ACE が、指定されたインターフェイスにおいて原因になっている MAC アドレスからのパケットを受信しましたが、パケットの送信元 MAC アドレスは現在の設定に含まれる別のインターフェイスに静的にバインドされています。この状況は、MAC スプーフィング攻撃または誤った設定によって発生する可能性があります。

**推奨処置** 設定をチェックし、原因になっているホストを見つけるか、または ACE の再設定を行って適切な処置をします。

## 322002

**エラーメッセージ** %ACE-3-322002: ARP inspection check failed for arp {request|response} received from host MAC\_address on interface interface. This host is advertising MAC Address MAC\_address\_1 for IP Address IP\_address, which is {statically|dynamically} bound to MAC Address MAC\_address\_2.

**説明** ARP インスペクションがイネーブルにされている場合、ACE では、ARP パケットをフォワーディングする前に、パケット内でアドバタイズされた新しい ARP エントリが静的に設定または動的に学習される IP-MAC アドレス バインディングに準拠しているかどうかをチェックされます。このチェックで不合格になった場合、ACE では ARP パケットをドロップしてこのメッセージが生成されます。この状況は、ネットワーク内での ARP スプーフィング攻撃または無効な設定 (IP-MAC バインディング) によって発生する可能性があります。

**推奨処置** 原因が攻撃の場合、ACL を使用してホストを拒否します。原因が無効な設定の場合は、バインディングを修正します (詳細については『Cisco Application Control Engine Module Routing and Bridging Configuration Guide』を参照してください)。

## 322003

**エラーメッセージ** %ACE-3-322003: ARP inspection check failed for arp {request|response} received from host *MAC\_address* on interface *interface*. This host is advertising MAC Address *MAC\_address\_1* for IP Address *IP\_address*, which is not bound to any MAC Address.

**説明** ARP インспекションがイネーブルにされている場合、ACE では、ARP パケットをフォワーディングする前に、パケット内でアドバタイズされた新しい ARP エントリが静的に設定された IP-MAC アドレス バインディングに準拠しているかどうかをチェックされます。このチェックで不合格になった場合、ACE では ARP パケットをドロップしてこのメッセージが生成されます。この状況は、ネットワーク内での ARP スプーフィング攻撃または無効な設定 (IP-MAC バインディング) によって発生する場合があります。

**推奨処置** 原因が攻撃の場合、ACL を使用してホストを拒否します。原因が無効な設定の場合は、バインディングを修正します (詳細については『Cisco Application Control Engine Module Routing and Bridging Configuration Guide』を参照してください)。

## 327001

**エラーメッセージ** %ACE-3-327001: Detected Encap table Full when allocating encap entry for IP interface *interface\_name*

**説明** Encap テーブルのサイズは、32,000 エントリに制限されています。この制限に到達した後でカプセル化エントリを割り当てようとすると、このメッセージがログに記録されます。

**推奨処置** `clear arp` コマンドを使用して、未使用または無効なテーブル エントリを削除してください。

## メッセージ 400000 ~ 444007

ここでは、400000 ~ 444007 のメッセージについて説明します。

### 400000

**エラーメッセージ** %ACE-4-400000: IDS:1000 IP Option Bad Option List from *IP\_address* to *IP\_address* on interface *interface\_name*

**説明** Cisco Intrusion Detection System のシグニチャ メッセージです。

**推奨処置** 詳細については、『Cisco Intrusion Detection System User Guide』を参照してください。

### 405001

**エラーメッセージ** %ACE-4-405001: Received ARP {request | response} collision from *IP\_address/mac\_address* on interface *interface\_name*

**説明** ACE が ARP パケットを受信しましたが、パケットの MAC アドレスが ARP キャッシュのエントリと異なっています。

**推奨処置** このトラフィックは正規のものである場合と、ARP ポイズニング攻撃が進行中であることを示している場合の2通りあります。送信元 MAC アドレスをチェックして、パケットの送信元と、そのホストが正当であるかどうかを確認してください。

### 406001

**エラーメッセージ** %ACE-4-406001: FTP port command low port: *IP\_address/port* to *IP\_address* on interface *interface\_name*

**説明** クライアントが FTP **port** コマンドを発行し、1024 未満のポート番号（通常、サーバポート専用の well-known ポート範囲）を指定しました。このエラーメッセージは、サイトのセキュリティポリシーを回避しようと試みていることを示しています。Cisco ASA はこのパケットをドロップし、接続を終了して、このイベントを記録します。

**推奨処置** 対処不要です。

### 406002

**エラーメッセージ** %ACE-4-406002: FTP port command different address: *IP\_address(IP\_address)* to *IP\_address* on interface *interface\_name*

**説明** クライアントが FTP **port** コマンドを発行し、接続で使用されているアドレス以外のアドレスを指定しました。このエラーメッセージは、サイトのセキュリティポリシーを回避しようと試みていることを示しています。カッコ内のアドレスは、**port** コマンドからのアドレスです。たとえば、攻撃者が転送されたパケットを変更し、正しいソース情報の代わりに別のソース情報を設定することにより、FTP セッションをハイジャックしようとしている場合があります。セキュリティアプライアンスはこのパケットをドロップし、接続を終了して、このイベントを記録します。

**推奨処置** 対処不要です。

## 410001

**エラーメッセージ** %ACE-4-410001: Dropped UDP DNS *packet\_type* from *source\_interface:source\_address/source\_port* to *dest\_interface:dest\_address/dest\_port*; *error\_length\_type* *length* *length* bytes exceeds *max\_length\_type* limit of *maximum\_length* bytes.

**説明** ドメイン名の長さが UDP DNS パケット内で 255 バイトを超えています (RFC 1035 セクション 3.1 を参照)。

**推奨処置** 対処不要です。

## 411001

**エラーメッセージ** %ACE-4-411001: Line protocol on interface *interface\_name* changed state to up

**説明** 回線プロトコルのステータスが、ダウン状態からアップ状態に変化しました。

**推奨処置** 対処不要です。

## 411002

**エラーメッセージ** %ACE-4-411002: Line protocol on interface *interface\_name* changed state to down

**説明** 回線プロトコルのステータスが、アップ状態からダウン状態に変化しました。

**推奨処置** これがインターフェイス上の予期していなかったイベントである場合は、回線をチェックしてください。

## 411003

**エラーメッセージ** %ACE-4-411003: Configuration status on interface *interface\_name* changed state to up

**説明** インターフェイスの設定ステータスが、ダウン状態からアップ状態に変化しました。

**推奨処置** これがインターフェイス上の予期していなかったイベントである場合は、回線をチェックしてください。

## 411004

**エラーメッセージ** %ACE-4-411004: Configuration status on interface *interface\_name* changed state to down

**説明** インターフェイスの設定ステータスが、アップ状態からダウン状態に変化しました。

**推奨処置** 対処不要です。

## 412001

**エラーメッセージ** %ACE-4-412001: MAC *MAC\_address* moved from *interface\_1* to *interface\_2*

**説明** ACE は、ホストがあるモジュールインターフェイスから別のインターフェイスに移動したことを検出しました。透過的な ACE では、ホスト (MAC) と ACE ポート間のマッピングは、レイヤ 2 転送テーブルで維持管理されます。このテーブルでは、パケットの送信元 MAC アドレスは、ACE ポートに動的にバインドされます。このバインディング処理の間に、ホストが 1 つのインターフェイスから別のインターフェイスに移動したことが検出されると、このエラーメッセージが生成されます。

**推奨処置** ホストの移動は有効である場合と、他のインターフェイス上にあるホストの MAC をスプーフィングしようとする場合の 2 通りあります。次のいずれかの処置を行います。

- 正当なホスト移動である場合であれば、処置は必要はありません。
- MAC スプーフィングが試行されている場合は、攻撃されやすいホストをネットワーク上で特定してそれを削除するか、または静的な MAC エントリを設定します。静的な MAC エントリを設定すると、MAC アドレスとポートのバインディングは変更できなくなります。

## 415004

**エラーメッセージ** %ACE-5-415004:HTTP - matched *mime\_type* in policy-map *policy\_map\_name*, content-type verification failed from *source\_address* to *dest\_address/port\_num* Connection *connection\_ID*

**説明** **match content-type-verification** コマンドが設定され、コンテンツタイプの HTTP ヘッダーフィールドの MIME タイプが、許可タイプのポリシーリストで検出されました。ただし、メッセージ本文の予想番号が正しい番号ではないため、このタイプのファイルを識別できません。この動作は異常であり、この接続によって機密データの盗難が試みられた可能性があります。

**推奨処置** 対処不要です。

## 415006

**エラーメッセージ** %ACE-5-415006: HTTP - matched *class\_map\_name* in *policy\_map\_name*, URI matched *connection\_action* from *source\_address/port\_num* to *dest\_address/port\_num* Connection *connection\_ID*

**説明** URI が、ユーザが設定した正規表現と一致しています。

**推奨処置** 対処不要です。

## 415007

**エラーメッセージ** %ACE-5-415007: HTTP - matched *class\_map\_name* in policy-map *policy\_map\_name*, Body matched *connection\_action* from *IP\_address/port\_num* to *IP\_address/port\_num* Connection *connection\_ID*

**説明** 本文が、ユーザが設定した正規表現と一致しています。

**推奨処置** 対処不要です。

## 415008

**エラーメッセージ** %ACE-5-415008: HTTP - matched *class\_map\_name* in policy-map *policy\_map\_name*, Header matched *connection\_action* from *IP\_address/port\_num* to *IP\_address/port\_num* Connection *connection\_ID*

**説明** ヘッダーが、ユーザが設定した正規表現と一致しています。

**推奨処置** 対処不要です。

## 415009

**エラーメッセージ** %ACE-5-415009: HTTP - matched *class\_map\_name* in policy-map *policy\_map\_name*, method matched - *connection\_action* from *IP\_address/port\_num* to *IP\_address/port\_num* Connection *connection\_ID*

**説明** 要求方式が、ユーザが設定した正規表現と一致しています。

**推奨処置** 対処不要です。

## 415010

**エラーメッセージ** %ACE-5-415010: HTTP - matched *class\_map\_name* in policy-map *policy\_map\_name*, transfer encoding matched *connection\_action* from *IP\_address/port\_num* to *IP\_address/port\_num* Connection *connection\_ID*

**説明** 転送エンコーディングまたはコンテンツ エンコーディングが、ユーザが設定した正規表現と一致しています。

**推奨処置** 対処不要です。

## 415011

**エラーメッセージ** %ACE-5-415011: HTTP - policy-map *policy\_map\_name*:Protocol violation *connection\_action* from *IP\_address/port\_num* to *IP\_address/port\_num* Connection *connection\_ID*

**説明** HTTP パーサーが、HTTP メッセージの最初の数バイト中に有効な HTTP メッセージを検出できません。ユーザは、HTTP トランザクション用のポート上でプロトコルを実行している可能性があります。この動作は、ユーザが設定したポリシーに違反します。

**推奨処置** 対処不要です。

## 415021

**エラーメッセージ** %ACE-5-415021: HTTP - matched *class\_map\_name* in policy-map *policy\_map\_name*, URI length range matched *connection\_action* from *source\_address/port\_num* to *dest\_address/port\_num* Connection *connection\_ID*

**説明** URI の長さは、ユーザが設定した範囲内です。

**推奨処置** 対処不要です。

## 415022

**エラーメッセージ** %ACE-5-415022: HTTP - matched *class\_map\_name* in *policy\_map\_name*, Header length range matched *connection\_action* from *source\_address/port\_num* to *dest\_address/port\_num* Connection *connection\_ID*

**説明** ヘッダーの長さは、ユーザが設定した範囲内です。

**推奨処置** 対処不要です。

## 415023

**エラーメッセージ** %ACE-5-415023: HTTP - matched *class\_map\_name* in policy-map *policy\_map\_name*, body length range matched *connection\_action* from *source\_interface:source\_address/port\_num* to *dest\_interface:dest\_address/port\_num* Connection *connection\_ID*

**説明** 本文の長さは、ユーザが設定した範囲内です。

**推奨処置** 対処不要です。

## 415024

**エラーメッセージ** %ACE-5-415024: HTTP - matched *class\_map\_name* in policy-map *policy\_map\_name*, Header content type matched *connection\_action* from *IP\_address/port\_num* to *IP\_address/port\_num* Connection *connection\_ID*

**説明** ヘッダーのコンテンツタイプが、ユーザが設定した正規表現と一致しています。

**推奨処置** 対処不要です。



## 415025

**エラー メッセージ** %ACE-5-415025: HTTP *policy\_map\_name* - Tunnel detected - *connection\_action* from *IP\_address/port\_num* to *IP\_address/port\_num* connection *connection\_ID*

**説明** HTTP コンテンツで、トンネリング プロトコルが検出されました。ユーザは、HTTP をトランスポートとして使用して、トンネリング プロトコルを実行している可能性があります。この動作は、ユーザが設定したポリシーに違反します。

**推奨処置** 対処不要です。

## 415026

**エラー メッセージ** %ACE-5-415026: HTTP *policy\_map\_name*: Instant Messenger detected *connection\_action* from *IP\_address/port\_num* to *IP\_address/port\_num* connection *connection\_ID*

**説明** インスタント メッセンジャー プロトコルで、HTTP コンテンツが検出されました。ユーザは、HTTP をトランスポートとして使用して、インスタント メッセンジャー プロトコルを実行している可能性があります。この動作は、ユーザが設定したポリシーに違反します。

**説明** 対処不要です。

## 415027

**エラー メッセージ** %ACE-5-415027: HTTP *policy\_map\_name*: Peer-to-Peer detected *connection\_action* from *IP\_address/port\_num* to *IP\_address/port\_num* connection *connection\_ID*

**説明** HTTP コンテンツで、ピアツーピア プロトコルが検出されました。ユーザは、HTTP をトランスポートとして使用して、ピアツーピア プロトコルを実行している可能性があります。この動作は、ユーザが設定したポリシーに違反します。

**推奨処置** 対処不要です。

## 440002

**エラー メッセージ** %ACE-3-440002: Addition failed for variable *l*

**説明** SNMP シャドウ テーブルの追加に関するエラーが発生しました。SNMP の Get/Get-Next 要求は、*variable l* によって指定された名前のテーブル上で失敗した可能性があります。

**推奨処置** システム内でメモリ関連の情報をチェックします。**show processes cpu memory** コマンドを入力して、出力の [MemAlloc] カラムにある情報を確認してください。

## 440003

**エラーメッセージ** %ACE-3-440003: Deletion failed for variable 2

**説明** SNMP シャドウ テーブルの削除に関するエラーが発生しました。削除エラーは、メモリ リーク、または *variable 2* によって指定された名前のテーブルで、その後の Get/Get-Next 要求に対して不正な値、あるいは存在しない値が返されたのが原因で生じる場合があります。

**推奨処置** システム内でメモリ関連の情報をチェックしてください。**show processes cpu memory** コマンドを実行して、出力の [MemAlloc] カラムにある情報を確認してください。

## 441001

**エラーメッセージ** %ACE-5-441001: Serverfarm name failed over to backup. Number of failovers = *count1*, number of times back in service = *count2*

**説明** サーバファームのフェールオーバー イベントが発生しました。*name* 変数は、サーバファームの名前です。*count1* 変数は、プライマリ サーバファームがバックアップ サーバファームにフェールオーバーした回数です。*count2* 変数は、プライマリ サーバファームがサービスを再開した回数です。

**推奨処置** 対処不要です。

## 441002

**エラーメッセージ** %ACE-5-441002: Serverfarm name is back in service. Number of failovers = *count1*, number of times back in service = *count2*

**説明** 稼働中のサーバファームのイベントが発生しました。*name* 変数は、サーバファームの名前です。*count1* 変数は、プライマリ サーバファームがバックアップ サーバファームにフェールオーバーした回数です。*count2* 変数は、プライマリ サーバファームがサービスを再開した回数です。

**推奨処置** 対処不要です。

## 442001

**エラーメッセージ** %ACE-4-442001: Health probe *probe name* detected *real\_server\_name* (interface *interface\_name*) in serverfarm *sfarm\_name* changed state to UP

**説明** 指定されたサーバファームで、実サーバの状態がダウンからアップに変化しました。

**推奨処置** 対処不要です。

## 442002

**エラーメッセージ** %ACE-4-442002: Health probe *probe name* detected  
*real\_server\_name* (interface *interface\_name*) in serverfarm *sfarm\_name* changed  
state to DOWN

**説明** 指定されたサーバファーム内の実サーバの状態が、アップからダウンに変化しました。

**推奨処置** 対処不要です。

## 442003

**エラーメッセージ** %ACE-5-442003: Real Server *real\_server\_name* in serverfarm  
*sfarm\_name* changed state to *new state*

**説明** このメッセージでは、実サーバの状態変化が報告されます。

*new state* 変数は、次のいずれかとなります。

- outOfService since max connection reached (最大接続数に達したのでアウトオブサービス)
- outOfService since retcode threshold reached (retcode しきい値に達したのでアウトオブサービス)
- outOfService in normal scenarios (通常の手順でのアウトオブサービス)

**推奨処置** 対処不要です。

## 442004

**エラーメッセージ** %ACE-4-442004: Health probe *probe name* detected  
*real\_server\_name* (interface *interface\_name*) changed state to UP

**説明** 実サーバの状態がダウンからアップに変化しました。

**推奨処置** 対処不要です。

## 442005

**エラーメッセージ** %ACE-4-442005: Health probe *probe name* detected  
*real\_server\_name* (interface *interface\_name*) changed state to DOWN

**説明** 実サーバの状態がアップからダウンに変化しました。

**推奨処置** 対処不要です。

## 444001

**エラーメッセージ** %ACE-2-444001: License checkout failure for feature *feature\_name* *reason*

**説明** 報告された理由により、指定の機能でライセンスのチェックアウトエラーが発生しました。

**推奨処置** Cisco TAC に連絡してください。

## 444002

**エラーメッセージ** %ACE-5-444002: Installed license file *license\_file\_name*

**説明** 指定されたライセンスのファイル名で、ライセンスのインストールが完了しました。

**推奨処置** このライセンスがインストールされたことを確認するには、**show license usage** コマンドを使用します。

## 444003

**エラーメッセージ** %ACE-5-444003: Uninstalled license file *license\_file\_name*

**説明** 指定されたライセンスのファイル名のアンインストールが完了しました。

**推奨処置** このライセンスがアンインストールされたことを確認するには、**show license usage** コマンドを使用します。

## 444004

**エラーメッセージ** %ACE-2-444004: Evaluation license expired for feature *feature\_name*

**説明** 指定された機能のライセンスの評価期間が過ぎています。ライセンスされた機能の、すべての固有の設定は削除されます。

**推奨処置** この機能を使用するには、新しいライセンスをインストールします。

## 444005

**エラーメッセージ** %ACE-4-444005: Evaluation license for feature *feature\_name* will expire in *num\_days* days *num\_hours* hours

**説明** 指定されたライセンスは、残り日数および残り時間で表示されている指定期間の経過後、評価期間が終了します。このライセンスの期間満了後は、ライセンス機能に固有のすべての設定が削除されます。

**推奨処置** この機能を中断せずに継続して使用するには、新しいライセンスをインストールしてください。

## 444006

**エラーメッセージ** %ACE-1-444006: License manager exiting: *reason*

**説明** 報告された理由により、ライセンス マネージャを終了します。

**推奨処置** Cisco TAC に連絡してください。

## 444007

**エラーメッセージ** %ACE-4-444007: Installed *feature\_name* license on Revision 6 or older hardware, will not take effect until next reboot.

**説明** Revision 6 以前のハードウェアにインストールされた 16G スループット ライセンスは、次回 ACE をリブートするまで有効になりません。

**推奨処置** 現在実行中の設定を保存してから、ACE をリブートしてください。

## メッセージ 504001 ~ 504002

ここでは、504001 ~ 504002 のメッセージについて説明します。

### 504001

**エラーメッセージ** %ACE-5-504001: Security context *context-name* was added to the system

**説明** セキュリティ コンテキストは、システムに正常に追加されました。

**推奨処置** 対処不要です。

### 504002

**エラーメッセージ** %ACE-5-504002: Security context *context-name* was successfully removed from the system

**説明** セキュリティ コンテキストは、システムから正常に削除されました。

**推奨処置** 対処不要です。

## メッセージ 607001 ~ 615004

ここでは、607001 ~ 615004 のメッセージについて説明します。

### 607001

**エラーメッセージ** %ACE-6-6-7001: Pre-allocate SIP media secondary channel for *source\_interface:source\_address/source\_port* to *destination\_interface:destination\_address/destination\_port* from *message\_id* message

**説明** このメッセージは、Session Initiation Protocol (SIP) セッションでネゴシエーションされたメディア ストリームを許可するため、接続が事前割り当てされる場合に生成されます。

**推奨処置** 対処不要です。

### 607003

**エラーメッセージ** %ACE-6-6-7003: SIP Classification: *Action\_type* and log SIP *message\_id* from *source\_interface:source\_address/source\_port* to *destination\_interface:destination\_address/destination\_port*

**説明** このメッセージは、ACE が SIP パケットを許可またはドロップする、もしくは SIP コントロール接続 (TCP 上である場合) をリセットする場合に生成され、ログ処理が設定されます。

**推奨処置** 対処不要です。

### 608001

**エラーメッセージ** %ACE-6-608001: Pre-allocate Skinny *connection\_type* secondary channel for *source\_interface:source\_address/source\_port* to *destination\_interface:destination\_address/destination\_port* from *message\_id* message

**説明** このメッセージは、Skinny Client Control Protocol (SCCP) セッションでネゴシエーションされたメディア ストリームを許可するため、接続が事前割り当てされる場合に生成されます。

**推奨処置** 対処不要です。

### 608002

**エラーメッセージ** %ACE-4-608002: Dropping Skinny message for *source\_interface:source\_address/source\_port* to *destination\_interface:destination\_address/destination\_port*, SCCPPrefix length *prefex\_length* too small

**説明** このメッセージは、SCCP トラフィック上で SCCP インスペクションを使用している場合に表示されます。これは、SCCP メッセージが小さすぎて、SCCP ペイロードを伝送できない場合に表示されます。

**推奨処置** 対処不要です。

## 608003

**エラー メッセージ** %ACE-4-608003: Dropping Skinny message for  
*source\_interface:source\_address/source\_port* to  
*destination\_interface:destination\_address/destination\_port*, SCCPPrefix length  
*prefex\_length* too large

**説明** このメッセージは、SCCP トラフィック上で SCCP インスペクションを使用している場合に  
表示されます。SCCP メッセージが設定された最大サイズよりも大きい場合に、表示されます。

**推奨処置** 対処不要です。

## 608004

**エラー メッセージ** %ACE-4-608004: Dropping Skinny message for  
*source\_interface:source\_address/source\_port* to  
*destination\_interface:destination\_address/destination\_port*, message id  
*message\_id* not allowed

**説明** このメッセージは、SCCP トラフィック上でインスペクションを使用している場合に生成  
されます。SCCP インスペクション ポリシーによって、Skinny コマンドが拒否された場合に表  
示されます。

**推奨処置** 対処不要です。

## 608005

**エラー メッセージ** %ACE-4-608005: Dropping Skinny message for  
*source\_interface:source\_address/source\_port* to  
*destination\_interface:destination\_address/destination\_port*, message id  
*message\_id* registration not complete

**説明** このメッセージは、SCCP トラフィック上でインスペクションを使用している場合に生成  
されます。IP Phone を Cisco Call Manager (CCM) に正常に登録完了する前に、未登録のため許  
可されない Skinny コマンドが確認された場合に表示されます。

**推奨処置** 対処不要です。

## 615003

**エラー メッセージ** %ACE-6-615003: VLAN *VLAN-number* not available for configuring  
an interface

**説明** 指定された VLAN 番号は、すでに ACE に割り当てられていません。モジュール上のイン  
ターフェイスにその VLAN 番号が設定されると、そのインターフェイスはシャットダウン状態  
を維持したままになります。インターフェイスがすでに VLAN を使用するように設定されてい  
てアップ状態になっている場合は、状態がシャットダウンに変化します。

**推奨処置** ログ メッセージ内で指定されている VLAN が ACE に必要なものでない場合は、こ  
の VLAN を使用するすべてのインターフェイスをモジュール設定から削除してください。

## 615004

**エラーメッセージ** %ACE-6-615004: VLAN VLAN-number available for configuring an interface

**説明** 指定された VLAN 番号は、現在 ACE に割り当てられています。モジュールでは、その VLAN を使用してインターフェイスを設定すると、インターフェイス上でトラフィックを受信できません。

**推奨処置** 新しい VLAN を使用するには、新しい VLAN を使用して ACE インターフェイスを設定します。



## メッセージ 727001 ~ 729003

ここでは、727001 ~ 729003 のメッセージについて説明します。

### 727001

**エラーメッセージ** %ACE-1-727001: *hostname*: HA: Peer IP address is not reachable.  
Error: *error str*.

**説明** アクティブまたはスタンバイ デバイスはその冗長ピアに到達できません。このメッセージは両方のデバイスで表示され、スタンバイ デバイス上でスイッチオーバーが発生させます。スイッチオーバーが発生すると、両方のデバイスで冗長性が失われます。*error str* 変数は、次のいずれかとなります。

- Heartbeat stopped. (ハートビートは停止しました) Ping on alternate interface failed. (代替インターフェイスへの PING は失敗しました)
- Heartbeat stopped. (ハートビートは停止しました) No alternate interface configured. (代替インターフェイスが設定されていません)

**推奨処置** ピア間の接続を検証します。ピア デバイスが物理的にアップ状態でも接続に問題がある場合、2つのアクティブ デバイスという結果になります。ピアがダウン状態になって接続が失われた場合は、2つのデバイス間の冗長性を復元するためにピアを再起動してください。

### 727002

**エラーメッセージ** %ACE-1-727002: *hostname*: HA: FT interface *interface name* to reach peer IP address is down. Error: *error str*

**説明** FT インターフェイス上で、ピア デバイスが到達不能です。この状況では、ネットワーク上で2つのデバイスがアクティブになるのを防止するために、スタンバイ デバイスはアクティブにスイッチオーバーすることはありません。*error str* 変数は、次のいずれかとなります。

- Heartbeats stopped. (ハートビートは停止しました) Peer is reachable via alternate interface. (ピアには代替インターフェイス経由で到達可能です)
- Heartbeats are up but cannot use the Telnet connection to the peer device. (ハートビートはアップ状態ですが、ピア デバイスとの Telnet 接続を使用できません)

**推奨処置** FT インターフェイス上の2つのデバイス間にある接続を検証します。ピア IP アドレスに対して PING を実行するか、Telnet を使用して、接続を確認してください。

### 727003

**エラーメッセージ** %ACE-1-727003: *hostname*: HA: Mismatch in context names detected for FT group *FTgroupID*. Cannot be redundant.

**説明** 特定のコンテキストに対して冗長性がイネーブルになっていても、コンテキスト名がミスマッチであるために両方のデバイスがアクティブまたはスタンバイになることができません。

**推奨処置** 両方のデバイス上で、FT グループの設定をチェックします。両方のデバイスが同じコンテキストに関連付けられていることを確認してください。

## 727004

**エラーメッセージ** %ACE-1-727004: *hostname*: HA: Two actives have been detected for FT group *FTgroupID*.

**説明** 両方のデバイスが、同じ FT グループでアクティブとなっていることが確認されました。したがって、2 つのデバイスの 1 つは自動的に制御を放棄し、スタンバイ状態にスイッチオーバーします。

**推奨処置** 対処不要です。

## 727005

**エラーメッセージ** %ACE-1-727005: *hostname*: HA: Config replication failed for context *ctx name*. Error : *error str*

**説明** *error str* 値によって返されたエラー条件が原因で、設定をピアのデバイスに同期させることができませんでした。*error str* 変数は、次のいずれかとなります。

- Error on Standby device when applying Configuration file replicated from Active. (アクティブ デバイスから複製された設定ファイルを適用するときに、スタンバイ デバイスで発生したエラーです)
- Failed to transfer Configuration file to standby. (設定ファイルのスタンバイ デバイスへの転送に失敗しました) TFTP Failed. (TFTP は失敗しました)
- Failed to generate Running Configuration for peer device. [show running peer] failed. (ピア デバイスの実行コンフィギュレーションの生成に失敗しました。「実行ピアの表示」に失敗しました。)
- Failed to convert Configuration to peer version. (設定をピアバージョンに変換するのに失敗しました) Flip of peer addresses failed. (ピアアドレスの反転に失敗しました)
- Failed to retrieve Context Information. (コンテキスト情報の取得に失敗しました)
- Failed to rollback Running Configuration on Standby device. (スタンバイ デバイス上で実行コンフィギュレーションのロールバックに失敗しました)
- Failed to sync Running Configuration to Standby device. (実行コンフィギュレーションをスタンバイ デバイスに同期させるのに失敗しました)
- Failed to sync Startup Configuration to Standby device. (スタートアップ コンフィギュレーションをスタンバイ デバイスと同期させるのに失敗しました)
- Failed to send MTS message to peer to communicate config status. (MTS メッセージをピアへ送信して設定状態を通知するのに失敗しました)

**推奨処置** 両方のデバイスで、実行コンフィギュレーションとスタートアップ コンフィギュレーションをチェックします。回復させるには、設定同期をディセーブルにしてから、設定を各デバイスに手動で適用してください。

## 727006

**エラーメッセージ** %ACE-1-727006: *hostname*: HA: Peer is incompatible due to *error str*. Cannot be Redundant.

**説明** ピア デバイスで互換性の確保ができません。これは、Software Relationship Graph (SRG) バージョンの不一致またはデバイス間でのライセンスのミスマッチが原因になっている可能性があります。失敗の理由は、エラー文字列によって示されます。

*error str* 変数は、次のいずれかとなります。

- License Compatibility Mismatch. (ライセンスの互換性がミスマッチ)
- SRG Compatibility Mismatch. (SRG の互換性がミスマッチ)

**推奨処置** 両方のデバイスで、バージョンとライセンスの互換性を検証します。

## 727007

**エラーメッセージ** %ACE-1-727007: *hostname*: HA: Module Initialization failure - Error *Error str*.

**説明** 冗長モジュールの1つが、初期化エラーが発生しました。*Error str* 変数は、失敗の理由を示しています。

*Error str* 変数は、次のいずれかとなります。

- MTS Init Failure (MTS の初期化に失敗)
- TNRPC Failure (TNRPC が失敗)
- Select Call Failure (コールの選択に失敗)
- Timer Creation Failure (タイマーの作成に失敗)

**推奨処置** Cisco TAC に連絡してください。

## 727008

**エラーメッセージ** %ACE-1-727008: *hostname*: HA: Failed to send heartbeats to peer. Internal error: *Error str*

**説明** 内部エラーが原因で、デバイスがハートビートをそのピアに送信できません。失敗の理由は、エラー文字列によって示されます。

*Error str* 変数は、次のいずれかとなります。

- Failed to setup UDP Connection to Peer for Heartbeats. (ハートビート用にピアへの UDP 接続を確立するのに失敗しました)
- Failed to create Encap for Peer. (ピア用の Encap の作成に失敗しました)
- Failed to communicate to IXP. (IPX との通信に失敗しました)

**推奨処置** Cisco TAC に連絡してください。

## 727009

**エラーメッセージ** %ACE-2-727009: hostname: HA: Communication failure for Peer  
Peer id Event: error str

**説明** デバイスで、ピアへの TCP 接続が確立できません。 *error str* 変数は、[Failed to establish TCP connection to Peer device.] (ピア デバイスへの TCP 接続の確立に失敗) になります。

**推奨処置** Cisco TAC に連絡してください。

## 727010

**エラーメッセージ** %ACE-2-727010: hostname: HA: Data replication failed for  
context ctx name. Error code error str

**説明** データ複製が失敗し、またデータがピア デバイスと正常に同期されません。次回の定期的同期では、このエラーが修正され、また損失したレコードが更新されます。 *error str* 変数は、失敗の理由を示しています。

*error str* 変数は、次のいずれかとなります。

- Failed to bulk sync Connection Records. (接続レコードのバルク同期に失敗しました)
- Failed to bulk sync Load Balancer Records. (ロードバランサレコードのバルク同期に失敗しました)

**推奨処置** 対処不要です。

## 727011

**エラーメッセージ** %ACE-2-727011: HA: Configuration replication for context ctx  
name will not happen. Error: Error str

**説明** コンテキストに対して、設定の同期が行われません。失敗の理由は、エラー文字列によって示されます。

*Error str* 変数は、次のいずれかとなります。

- Failed to open Startup Configuration File. (スタートアップ コンフィギュレーション ファイルを開くのに失敗しました) It does not exist. (ファイルが存在しません)
- HA election timed out. (HA 選定がタイムアウトになりました)
- Configuration sync to peer not initiated because Peer doesn't exist. (ピアが存在しないので、設定のピアへの同期は開始されませんでした)
- HA has not been configured for context. (HA がコンテキストに対して設定されていませんでした)

**推奨処置** 対処不要です。

## 727012

**エラーメッセージ** %ACE-2-727012: *hostname*: HA: FT Group *group ID* changed state to *NewState*. Reason: *reason str*.

**説明** このメッセージには、コンテキストの HA 状態（冗長）デバイスによって行われる状態遷移が表示されます。

表 2-2 に、*NewState* 変数の値をリスト表示します。

表 2-2 *NewState* 変数の値と説明

NewState 変数の値	説明
FSM_FT_STATE_INIT	初期状態です。FT グループの設定は存在していても、サービスとして機能していない場合にのみ表示されます。
FSM_FT_STATE_ELECT	<b>inserve</b> コマンドを入力した後、FT グループを設定すると、ACE は ELECT 状態に入ります。冗長ステートマシンは、FT グループ内のピア コンテキストとネゴシエーションを行い、冗長ロール（アクティブまたはスタンバイ）を決定します。
FSM_FT_STATE_ACTIVE	FT グループのアクティブ メンバです。
FSM_FT_STATE_STANDBY_COLD	次の動作のいずれかが発生した場合、この状態になります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>FT VLAN はダウンしていますが、ピア デバイスは機能し続けています。</li> <li>設定またはアプリケーションの状態同期で、障害が発生しました。</li> </ul>
FSM_FT_STATE_STANDBY_CONFIG	スタンバイ コンテキストは、設定情報を受信するために待機しています。この状態になると、実行コンフィギュレーションのコピーを送信するよう、アクティブ コンテキストに通知されます。
FSM_FT_STATE_STANDBY_BULK	スタンバイ コンテキストは、状態情報を受信するために待機しています。この状態になると、すべてのアプリケーションに関して現在の状態情報のコピーを送信することが、アクティブ コンテキストに通知されます。
FSM_FT_STATE_STANDBY_HOT	スタンバイ コンテキストは、フェールオーバーの状況でアクティブになる準備ができています。

*reason str* 変数に関して返された値は、次のいずれかとなります。

- FSM\_FT\_EV\_PEER\_DOWN
- FSM\_FT\_EV\_PEER\_FT\_VLAN\_DOWN
- FSM\_FT\_EV\_PEER\_SOFT\_RESET
- FSM\_FT\_EV\_STATE
- FSM\_FT\_EV\_TIMEOUT
- FSM\_FT\_EV\_CFG\_SYNC\_STATUS
- FSM\_FT\_EV\_BULK\_SYNC\_STATUS
- FSM\_FT\_EV\_COUP
- FSM\_FT\_EV\_RELINQUISH
- FSM\_FT\_EV\_TRACK\_STATUS

- FSM\_FT\_EV\_UPDATE
- FSM\_FT\_EV\_ENABLE\_INSERVICE
- FSM\_FT\_EV\_DISABLE\_INSERVICE
- FSM\_FT\_EV\_SWITCHOVER
- FSM\_FT\_EV\_PEER\_COMPATIBLE
- FSM\_FT\_EV\_MAINT\_MODE\_OFF
- FSM\_FT\_EV\_MAINT\_MODE\_PARTIAL
- FSM\_FT\_EV\_MAINT\_MODE\_FULL

**推奨処置** 対処不要です。

## 727013

**エラーメッセージ** %ACE-2-727013: *hostname: HA: Peer Peer # is UP and reachable.*

**説明** 現在、ピアは到達可能です。2つのピア間で、ハートビートが正常に伝達されています。

**推奨処置** 対処不要です。

## 727014

**エラーメッセージ** %ACE-2-727014: *hostname: HA: Heartbeats from Peer Peer id have become unidirectional.*

**説明** ピアからの冗長ハートビートが単方向になっています。したがって、ピアはハートビートを送信できますが受信することはできません。この問題は、ネットワーク プロセッサの1つに問題がある場合に発生します。

**推奨処置** ネットワーク プロセッサのドロップカウンタを確認してから、Cisco TAC に連絡してください。

## 727015

**エラーメッセージ** %ACE-2-727015: *hostname: HA: Detected mismatch in heartbeat interval from Peer peer id. Modified interval to interval.*

**説明** 1つのピアから受信した冗長ハートビートが、もう1つのピアの値と異なっています。ハートビート間隔を動的に変更することを選択すると、このような状況になることがあります。表示される変更後のハートビート間隔は、調整済みの間隔を表しています。この値は、2つの値よりも大きくなります。

**推奨処置** 対処不要です。

## 727016

**エラーメッセージ** %ACE-2-727016: *hostname*: HA: Replication for context *ctx name* has started. Status - *status*.

ピアに対して複製が実行されています。*status* 変数では、同期ステータスが示されます。*status* 変数に関する値は、次のいずれかとなります。

- Running Configuration sync has started to peer. (実行コンフィギュレーションの同期が、ピアに対して開始されました)
- Startup Configuration sync has started to peer. (スタートアップ コンフィギュレーションの同期が、ピアに対して開始されました)
- Startup Configuration sync has completed to peer. (ピアに対するスタートアップ コンフィギュレーションの同期は、完了しました)
- Running Configuration sync has completed to peer. (ピアに対する実行コンフィギュレーションの同期は、完了しました)
- Data Replication has completed to peer. (ピアに対するデータ複製は完了しました)
- Startup configuration has been applied successfully for context. (スタートアップ コンフィギュレーションは、コンテキストに正常に適用されました)

**推奨処置** 対処不要です。

## 727017

**エラーメッセージ** %ACE-2-727017: *hostname*: HA: FT Track *track type track name* is UP.

**説明** FT 追跡がアップ状態です。

*track type* 変数は、次のいずれかとなります。

- Interface (インターフェイス)
- HSRP
- Host

**推奨処置** 対処不要です。

## 727018

**エラーメッセージ** %ACE-2-727018: *hostname*: HA: FT Track *track type track name* is DOWN.

**説明** FT 追跡がダウン状態です。

*track type* 変数は、次のいずれかとなります。

- Interface (インターフェイス)
- HSRP
- Host

**推奨処置** 対処不要です。

## 727019

**エラーメッセージ** %ACE-5-727019: *hostname*: HA: Started alternate ping to IP  
*address ip addr*

**説明** ピアの状態をチェックするために代替インターフェイス上で ICMP PING が開始されました。このプロセスは、ピアからのハートビートが受信できなくなると開始されます。スタンバイ デバイスはピアに対して代わりの PING を発行して、ピアが引き続き機能していることを確認します。ピアが機能している場合、このデバイスはスイッチオーバーしません。これにより、ネットワーク上で2つのデバイスがアクティブ状態になるのが防止されます。

**推奨処置** 対処不要です。

## 727020

**エラーメッセージ** %ACE-5-727020: *hostname*: HA: Stopped alternate ping to IP  
*address ip addr*.

**説明** 代替インターフェイス上で、ICMP PING が停止しています。これは、ピアからのハートビートが受信され、またピアがアップ状態で到達可能になっていると発生します。

**推奨処置** 対処不要です。

## 727021

**エラーメッセージ** %ACE-5-727021: *hostname*: HA: Peer is compatible.

**説明** 2つのデバイスが互換状態で、冗長性を持つように設定できます。

**推奨処置** 対処不要です。

## 727022

**エラーメッセージ** %ACE-5-727022: *hostname*: HA: Started sending heartbeats to peer  
*Peer id interval value and count cnt*

**説明** ピアへの冗長接続が正常に確立されて、設定された間隔とカウントでピアへのハートビートが開始されました。

間隔変数では、間隔をミリ秒単位で指定します。カウント変数は、ピアがダウン状態と断定される前に、受信できなかったハートビート間隔の数を指定します。

**推奨処置** 対処不要です。



## 727023

**エラーメッセージ** %ACE-5-727023: *hostname*: HA: Stopped sending heartbeats to peer *Peer id*.

**説明** ピアへの冗長ハートビートが停止しています。これは、冗長性の設定を解除したり、またはピアの IP アドレスなどの基本的な接続パラメータを変更した場合に、発生することがあります。

**推奨処置** 対処不要です。

## 728001

**エラーメッセージ** %ACE-1-728001: Initialization failure (general) type *variable1*

**説明** 一般的な障害（たとえば、メモリ不足、スレッド生成の失敗、通信チャネル確立の失敗など）が原因で、ACE のロード バランシング プロセスの初期化は中断されました。

*variable1* では、コードベースでの障害の正確な発生位置が特定されます。

**推奨処置** syslog メッセージを文書に記録してから、ACE を再起動します（詳細については、『*Cisco Application Control Engine Module Administration Guide*』を参照してください）。Cisco TAC に連絡して、記録したメッセージテキストを提出してください。

## 728002

**エラーメッセージ** %ACE-1-728002: Initialization failure (sticky) type *variable1*

**説明** スティック サブシステムの障害（たとえば、メモリ アライメントの失敗、スレッド生成の失敗、通信チャネル確立の失敗）が原因で、ACE のロード バランシング プロセスの初期化は中断されました。

*variable1* では、コードベースでの障害の正確な発生位置が特定されます。

**推奨処置** syslog メッセージを文書に記録してから、ACE を再起動します（詳細については、『*Cisco Application Control Engine Module Administration Guide*』を参照してください）。Cisco TAC に連絡して、記録したメッセージテキストを提出してください。

## 728003

**エラーメッセージ** %ACE-1-728003: Initialization failure (sticky hash) *variable1* entries, *variable2* min, *variable3* max type *variable4*

**説明** スティック データベースのエントリを割り当てるときに発生した障害（データベースが未割り当て）が原因で、ACE ロード バランシング プロセスの初期化は中断されました。

このメッセージに表示される変数は、次のことを表しています。

- *variable1* — スティック エントリの要求数を特定します。
- *variable2* — ハッシュ アルゴリズムで正しい演算を行うために必要なスティック エントリの最少数を特定します。
- *variable3* — 割り当てることができるエントリの最大数を特定します。

- *variable4* — コードベースで障害の正確な発生位置を特定します。

**推奨処置** syslog メッセージを文書に記録してから、ACE を再起動します（詳細については、『Cisco Application Control Engine Module Administration Guide』を参照してください）。Cisco TAC に連絡して、記録したメッセージテキストを提出してください。

## 728004

**エラーメッセージ** %ACE-5-728004: Internal communications notice (general) type *variable1*

**説明** ACE のロード バランシング プロセスでは、送出することができない、スプリアスなまたは解析できない内部メッセージを検出します。負荷が高い状況下では、メッセージが失われる場合があります。

*variable1* では、コードベースでの障害の正確な発生位置が特定されます。

**推奨処置** このメッセージが頻繁に発生する場合、または通常のシステム負荷の状況でロード バランシングの問題が起きたときにこのメッセージが表示された場合は、Cisco TAC に連絡してください。

## 728005

**エラーメッセージ** %ACE-3-728005: Failed to transmit *variable1* decision for connection from client *variable2* type *variable3*

**説明** ロード バランシング決定が、内部的に失われました。初期化できるサーバ接続がないので、確認されたクライアント接続はリセットされます。このようになった場合、そのクライアントでは再接続を試行できます。

*variable1* では、接続のタイプが特定されます。変数は、次のようになります。

- *destination* (宛先: ロード バランサによって決定)
- *drop* (削除: 破棄された接続)
- *forwarded* (転送: ロード バランスなし)

*variable2* では、接続の発信元になっているクライアントのアドレスが特定されます。

*variable3* では、コードのどの行でエラーがログに記録されたかを示す、Unique Identifier (UID; 固有識別情報) が特定されます。

**推奨処置** このメッセージが頻繁に発生する場合は、syslog メッセージを文書に記録してから、Cisco TAC に連絡してください。

## 728006

**エラーメッセージ** %ACE-5-728006: Internal communications error (messaging) msg subType *variable1* -- type *variable2*

ロード バランシングの間に、識別できない内部メッセージが ACE によって受信されました。このメッセージは、未処理のまま破棄されます。

このメッセージに表示される変数は、次のことを表しています。

- *variable1* — 処理できなかったメッセージのタイプ (10 進数) が特定されます。

- *variable2* — コードのどの行でエラーがログに記録されたかを示す、UID が特定されます。

**推奨処置** このメッセージが頻繁に発生する場合は、syslog メッセージを文書に記録してから、Cisco TAC に連絡してください。

## 728007

**エラー メッセージ** %ACE-3-728007: Internal configuration communications error (sticky) type *variable1*

**説明** ロード バランシングの間に、スティッキ データベース リソースへの不適切な設定要求が ACE によって受信されました。リソースが許可されている量を超えているか、またはリソースを発見できなかった可能性があります。

*variable1* では、コードのどの行でエラーがログに記録されたかを示す、UID が特定されます。

**推奨処置** 要求されたリソースが、選択されたコンテキストの中で使用可能であることを検証します。要求されたリソースが使用可能で、また設定によって使用が許可されている場合は、内部エラーが存在しています。Cisco TAC に連絡してください。

## 728008

**エラー メッセージ** %ACE-3-728008: Internal communications error (sticky) /source processor *variable1* destination processor *variable2* -- type *variable3*

**説明** ロード バランシングの間に、2 つのネットワーク プロセッサ間の通信にエラーがあることが ACE によって検出されました。その結果として、一部のクライアント接続では、スティッキ ロード バランシングが発生しないことがあります。

このメッセージに表示される変数は、次のことを表しています。

- *variable1* — 受信したソース プロセッサの 10 進数の ID が特定されます。
- *variable2* — 受信した宛先プロセッサの 10 進数の ID が特定されます。
- *variable3* — コードのどの行でエラーがログに記録されたかを示す、UID が特定されます。

**推奨処置** Cisco TAC に連絡してください。

## 728009

**エラー メッセージ** %ACE-3-728009: Context ID *variable1* requested *variable2* of *variable3* sticky entries. No action taken. -- type *variable4*

**説明** このメッセージは、管理コンテキストから報告されます。*variable1* によって識別される管理コンテキストからの設定要求に対しては、応答は返されません。これは、設定要求が、スティッキ エントリに許可されているリソースを超えているからです。

このメッセージに表示される変数は、次のことを表しています。

- *variable1* — スティッキ エントリの動作を要求するコンテキストが特定されます。
- *variable2* — 要求された動作が特定されます。
- *variable3* — 要求されたスティッキ エントリの数が特定されます。
- *variable4* — コードのどの行でエラーがログに記録されたかを示す、UID が特定されます。

**推奨処置** Cisco TAC に連絡してください。

## 728011

**エラーメッセージ** %ACE-4-728011: Context ID *variable1* being *variable2* should not have *variable3* associated sticky groups -- type *variable4*

**説明** このメッセージは管理コンテキストから報告され、スティッキ グループに関連付けられたコンテキストが追加または削除されると表示されます。この状況が存在し、さらにエラーメッセージがログに記録された場合でも、コンテキストの追加または削除自体は実行されます。

- *variable1* — 追加または削除されるコンテキストの ID が特定されます。
- *variable2* — 要求された動作が特定されます。指定できる値は、added (追加) または removed (削除) です。
- *variable3* — 検出された関連するスティッキ グループの数が特定されます。
- *variable4* — コードのどの行でエラーがログに記録されたかを示す、UID が特定されます。

**推奨処置** コンテキストを追加または削除する前に、そのコンテキストに関連付けられているスティッキ グループがないことを確認します。

## 728012

**エラーメッセージ** %ACE-5-728012: Context ID *variable1* failed to receive return data -- type *variable2*

**説明** CLI で実行した **show** コマンドへの応答に含まれるはずの収集データが、ネットワーク プロセッサから CLI に正常に返されませんでした。

このメッセージに表示される変数は、次のことを表しています。

- *variable1* — 要求を行ったコンテキストのコンテキスト ID が特定されます。
- *variable2* — コードのどの行でエラーがログに記録されたかを示す、UID が特定されます。

**推奨処置** **show** コマンドを再入力します。それでも問題が解決しない場合は、Cisco TAC に連絡してください。

## 728013

**エラーメッセージ** %ACE-4-728013: A cache alignment error *variable1* was detected during initialization -- type *variable2*

**説明** ロード バランシングの初期化中に、キャッシュ アライメント エラーが検出されました。このエラーはパフォーマンスに影響しますが、ロード バランシングは引き続き正常に実行されます。

このメッセージに表示される変数は、次のことを表しています。

- *variable1* では、キャッシュ アライメントの戻りコードが特定されます。
- *variable2* では、コードのどの行でエラーがログに記録されたかを示す、UID が特定されます。

**推奨処置** このエラーメッセージが頻繁に表示される場合は、Cisco TAC に連絡してください。

## 728014

**エラーメッセージ** %ACE-3-728014: Internal cross-processor communications error (sticky) type *variable1*

**説明** ロードバランシングの間に、ACE 上にある 2 番目のネットワーク プロセッサからのメッセージを解析できませんでした。これが原因で 2 つのプロセッサ間のスティッキ情報が失われる可能性があり、結果的に一部のクライアントでスティッキ サーバ接続が失われます。

*variable1* では、コードのどの行でエラーがログに記録されたかを示す、UID が特定されます。

**推奨処置** Cisco TAC に連絡してください。

## 728015

**エラーメッセージ** %ACE-3-728015: Internal channel communications error (sticky) type *variable1*

**説明** ロードバランシングの動作中に、ロードバランシングの設定または表示ディレクティブを表示するための内部通信チャンネルが、ACE でオープンまたは使用できませんでした。エラーが発生した特定のディレクティブは、(再試行されている場合も含め) 完了されていません。

*variable1* では、コードのどの行でエラーがログに記録されたかを示す、UID が特定されます。

**推奨処置** Cisco TAC に連絡してください。

## 728016

**エラーメッセージ** %ACE-4-728016: HA data receive failure (type *variable1*)

**説明** 冗長ピアから受信した冗長メッセージが解析できなかったために破棄された場合、このメッセージがログに記録されます。

*variable1* では、コードのどの行でエラーがログに記録されたかを示す、UID が特定されます。

**推奨処置** `show ft stats group_id` コマンドを使用して、FT グループのロードバランシング統計情報を表示します。

- この型の変数が値として 90 (10 進数) を返した場合は、「Number of Sticky Entries Dropped」値を監視します。値が時間経過とともに増加する場合は、Cisco TAC に連絡してください。
- この型の変数が値として 99 (10 進数) を返した場合は、「Number of Receive Failures」値を監視します。値が時間経過とともに増加する場合は、Cisco TAC に連絡してください。

## 728017

**エラーメッセージ** %ACE-3-728017: Internal communications error (ha) -- type *variable1*

**説明** このメッセージは、現在のコンテキストから報告されます。冗長メッセージを冗長ピアへ送信しようとしたが、メッセージの送信ができなかったので失敗しました。

*variable1* では、コードのどの行でエラーがログに記録されたかを示す、UID が特定されます。

**推奨処置** `show ft stats group_id` コマンドを使用して、FT グループのロード バランシング統計情報を表示します。[Number of Send Failure] の値を監視します。それでも問題が解決しない場合は、Cisco TAC に連絡してください。

## 728018

**エラーメッセージ** %ACE-5-728018: Proxy connection *variable1* rebalanced to server *variable2*

**説明** ACE によって、接続のサーバ側で別のサーバとの再バランスが必要なことが確認されました。これは、再バランスが発生したときにコンテキスト内で発行される情報メッセージです。

このメッセージに表示される変数は、次のことを表しています。

- *variable1* では、プロキシ接続の識別名が特定されます。
- *variable2* では、接続が再バランスされた実サーバのインデックスが特定されます。

**推奨処置** 対処不要です。

## 728019

**エラーメッセージ** %ACE-4-728019: Sticky resources were not *variable1* for this context -- type *variable2*

**説明** スティック グループでは設定済みのスティック エントリを発見できなかったため、スティック要求（ルックアップ、設定、またはスティック エントリの削除）はするべきではありませんでした。これは設定された制限を超えたことによる結果ではありませんが、スティック グループの予期されなかったルックアップ結果であることを示しています。

*variable1* では、要求されたスティック動作が特定されます。変数は、次のようになります。

- detected (検出)
- inserted (挿入)
- removed (削除)

*variable2* では、コードのどの行でエラーがログに記録されたかを示す、UID が特定されます。

**推奨処置** Cisco TAC に連絡してください。

## 728020

**エラー メッセージ** %ACE-6-728020: LB is configured to consume *variable1* bytes of memory.

**説明** このメッセージは、ロード バランシングの初期化中に ACE によってマッピングされた物理メモリの量、およびマッピングが成功したかどうかを示します。

*variable1* では、物理メモリにマッピングされたバイト数が特定されます。

**推奨処置** 対処不要です。

## 728021

**エラー メッセージ** %ACE-6-728021: Found inconsistent sticky entry. Terminating *variable1*.

**説明** ロード バランシングの間に ACE によって処理されるさまざまなコマンドでは、関連するすべてのスティッキ エントリを発見するために、スティッキ データベースを検索する必要があります。予測に反して追加のスティッキ エントリが発見されなかった場合に、このメッセージが生成されます。このメッセージが役立つのは、スティッキの問題のトラブルシューティングを行う場合です。メッセージに示されている動作は終了になりますが、同じタイプ（または他のタイプ）の追加的な要求は完了されます。

*variable1* では、終了された動作が特定されます。変数は、次のようになります。

- show screen（画面表示：ユーザ要求）
- resetting timestamps（タイムスタンプのリセット：スティッキ エントリのエージング）
- HA share（HA 共有：HA を通して学習されたエントリでデータベースをアップデート）

**推奨処置** 対処不要です。

## 728022

**エラー メッセージ** %ACE-6-728022: Invalid hash table index (*variable1*) used for *variable2*

**説明** 指定された動作は、無効なハッシュ インデックスが原因で打ち切られました。

*variable1* では、無効なハッシュ テーブル インデックスの値が特定されます。

*variable2* では、使用するインデックス テーブルが特定されます。変数は、次のようになります。

- LookupRealServerId
- InsertNewEntry

**推奨処置** 対処不要です。

## 728023

**エラーメッセージ** %ACE-6-728023: *variable1 variable2 sticky entries from ContextId variable3.*

**説明** リソース制限を変更した結果として、コンテキストからスティッキ エントリが追加または削除されました。

*variable1* では、動作が特定されます。変数は、次のようになります。

- Added
- Removed

*variable2* では、移動したスティッキ エントリの数が特定されます。

*variable3* では、エントリが追加または削除されるコンテキストの ID が特定されます。

**推奨処置** 対処不要です。

## 728024

**エラーメッセージ** %ACE-4-728024: Received an unknown *variable1* type message (*variable2*) for Sticky from remote IXP *variable3*!

**説明** 2番目のネットワーク プロセッサからの要求または応答では、認識できないタイプの動作が指示されています。要求または応答に対する反応はないので、要求や応答は破棄されます。このメッセージが役立つのは、スティッキ データベースをネットワーク プロセッサと同期させるときに発生する問題のトラブルシューティングを行う場合です。

*variable1* では、メッセージクラスが特定されます。変数は、次のようになります。

- request
- reply

*variable2* では、認識できないタイプの動作を表す数値が特定されます。

*variable3* では、メッセージを送信した IXP (ネットワーク プロセッサ) の ID が特定されます。

**推奨処置** 対処不要です。

## 728025

**エラーメッセージ** %ACE-6-728025: Dropped *variable1* '*variable2*' messages (*variable3* total) from IXP *variable4* to IXP *variable5*!

**説明** ネットワーク プロセッサ間でスティッキ メッセージ (スティッキの挿入、スティッキのルックアップ、またはスティッキ接続のクローズ) が失われました。この情報が役立つのは、スティッキの機能に関する問題のトラブルシューティングを行う場合です。

*variable1* では、失われたメッセージの数が特定されます。

*variable2* では、メッセージのタイプが特定されます。変数は、次のようになります。

- request
- response

*variable3* では、破棄されたメッセージの総数が特定されます (この数には、失われたメッセージと、送信できなかったために破棄されたメッセージの両方が含まれます)。

*variable4* では、送信元のネットワーク プロセッサの ID が特定されます。



*variable5* では、宛先のネットワーク プロセッサの ID が特定されます。

**推奨処置** 対処不要です。

## 728026

**エラー メッセージ** %ACE-6-728026: Attempting to use invalid lookup key for *variable1* processing.

**説明** 無効なキーが原因で、接続のクローズ通知がリモート ネットワーク プロセッサに送信されなかった場合に、このメッセージが表示されます。*variable1* では、処理のタイプが特定されます (connection close)。この情報が役立つのは、スティッキの機能に関する問題のトラブルシューティングを行う場合です。

**推奨処置** 対処不要です。

## 728027

**エラー メッセージ** %ACE-4-728027: Received unhandled message of type *variable1* from CP SrcSAP *variable2*.

**説明** ロード バランシング動作の間に、Control Processor (CP; コントロール プロセッサ) から認識できないメッセージを受信しました。このメッセージは、破棄されます。このメッセージが役立つのは、ACE によって無視された CP からのコマンドまたは設定ディレクティブの問題のトラブルシューティングを行う場合です。

このメッセージに表示される変数は、次のことを表しています。

- *variable1* — 受信された未加工 (10 進数) の認識できないメッセージのタイプが特定されます。
- *variable2* — メッセージが送信された CP 上にある ソース SAP (10 進数) が特定されます。

**推奨処置** 対処不要です。

## 728028

**エラー メッセージ** %ACE-5-728028: Sticky mapping failed: *variable1* *variable2*

**説明** 冗長ピアから受信した情報は、ローカルでマッピングすることはできません。関連するスティッキ エントリの情報は、破棄されます。

*variable1* では、マッピングの失敗した理由が特定されます。変数は、次のようになります。

- Invalid sticky group id (無効なスティッキ グループ ID)
- Invalid real server id (無効な実サーバ ID)
- Sticky group not active (非アクティブなスティッキ グループ)

*variable2* では、無効なエントリの ID (10 進数) が特定されます。エントリが [invalid real server id] の場合は、実サーバの ID の値が表示されます。その他の場合は、無効または非アクティブなスティッキ グループの ID が表示されます。

**推奨処置** `show ft stats group_id` コマンドを使用して、FT グループのロード バランシング統計情報を表示します。[Number of Sticky Entries Dropped] の値を監視します。値が時間経過とともに増加する場合は、Cisco TAC に連絡してください。

## 728029

**エラーメッセージ** %ACE-6-728029: HA state for FtGroup *variable1* changed from *variable2* to *variable3* State *variable4*.

**説明** このメッセージでは、冗長ピアから受信された状態変更を追跡します。ロード バランシングに関係のないイベントは無視されます。このメッセージが役立つのは、冗長ピアの同期問題のトラブルシューティングを行うために、冗長性の状態を追跡する場合です。

*variable1* では、耐障害性グループの ID (10 進数) が特定されます。

*variable2* と *variable3* では、以前および現在の状態変更イベントが特定されます。変数は、次のようになります。

- Active
- StartCfgSync
- StartBulkSync
- StartPeriodicSync
- StopSync
- Stdbycfg
- StdbyBulk
- StdbyHot
- StdbyCold
- BulkSyncDone
- NonRedundant
- None
- "???" (未定義のイベントを表します)

*variable4* では、状態変更の動作が特定されます。変数は、次のようになります。

- handled
- ignored

**推奨処置** 対処不要です。

## 728030

**エラーメッセージ** %ACE-6-728030: Silently discarding HA data: *variable1*

**説明** ACE がデータを処理できなかったことが原因で、ロード バランシングの動作中に冗長データを破棄する必要があります。冗長データが破棄されると、シームレスなフェールオーバーに影響することがあります。このメッセージが役立つのは、冗長ピアの問題のトラブルシューティングを行う場合です。

*variable1* では、冗長ピアからデータを破棄した理由が特定されます。変数は、次のようになります。

- Received unknown message type (認識できないタイプのメッセージを受信)
- Received data packet in wrong HA state (不正な HA 状態のデータ パケットを受信)

**推奨処置** 対処不要です。

## 728031

**エラー メッセージ** %ACE-3-728031: Memory mapping for debug logging failed.

**説明** デバッグ ロギングの初期化中にメモリ マッピングが失敗しました。ロード バランシングは継続されていますが、コマンドラインから起動したとしても、デバッグ ロギングは行われません。

**推奨処置** ACE を再起動してデバッグ ロギング コンポーネントを再初期化します (詳細については、『Cisco Application Control Engine Module Administration Guide』を参照してください)。再起動を行うと、一時的なマッピングの問題を修正できる場合があります。それでも問題が解決しない場合は、Cisco TAC に連絡してください。

## 728032

**エラー メッセージ** %ACE-LB\_General-4-728032: Real Server variable1 in Serverfarm variable2 has reached configured threshold for HTTP retcode variable3

**説明** サーバファーム上で HTTP 戻りコードをすでに設定している場合に、特定の実サーバが設定した戻りコードしきい値に達しました。

このメッセージに表示される変数は、次のことを表しています。

- *variable1* — サーバファーム内の実サーバの名前が特定されます。
- *variable2* — サーバファームの名前が特定されます。
- *variable3* — このメッセージがログに記録される原因となったサーバによって戻された HTTP 戻りコードの値が特定されます。

**推奨処置** これらのサーバ戻りコードの応答を発生させたクライアント HTTP 要求のタイプを再調査します。問題が起こる可能性を指摘している戻りコードを探してください。たとえば、内容の欠落または不正なサーチパスなどがあります。

## 729001

**エラー メッセージ** %ACE-3-729001: Regular expression config download failed due to out of memory. No regexp rules are currently applied on class-map *map\_name* in service-policy *policy\_name*. Manual roll back to a previous regexp configuration on this service-policy is needed.

**説明** 正規表現テーブルのコンパイル処理でメモリが不足したか、またはエラー状態になったために、新しい規則を指定のサービス ポリシーに適用できなくなりました。ハードウェア内でそのサービス ポリシー用にダウンロードされた正規表現の設定が、この障害が原因で、既知の状態にならない場合があります。

**推奨処置** 正規表現をいくつか削除するか、または割り当てる正規表現リソースを増やします。

## 729002

**エラーメッセージ** %ACE-4-729002: Regex resource usage beyond maximum limit for context *context\_id*. Free up some resources.

**説明** この syslog メッセージでは、指定されたコンテキスト (*context\_id*) で使用中の regex リソースが、リソース クラスで許可されている上限を超過していることを表しています。

**推奨処置** 指定されたコンテキスト内の最小 regex 使用量を減らし、上限を超過しないようにします。

## 729003

**エラーメッセージ** %ACE-4-729003: Minimum regex resources could not be guaranteed for context *context\_id*.

**説明** このメッセージは、指定されたコンテキスト (*context\_id*) が要求された最小 regex リソースを保証できないことを示しています。

**推奨処置** グローバル管理者に連絡をして、別のコンテキスト管理者が regex リソースを開放するよう要求してください。